

# 『鳥獣害対策システム』 [西日本電信電話株式会社／東日本電信電話株式会社／株式会社日立製作所]

- 通信回線を使って、出没検知センサー、捕獲検知センサー、鳥獣忌避センサーをGISと連携し、**鳥獣の出没や捕獲状況をリアルタイムで通知（地理情報システムで各種データを可視化）**。
- 出没履歴に基づく行動傾向や被害状況/対策情報の見える化により、**効果的な鳥獣害対策の立案を支援**。

## 企業概要

- 西日本電信電話株式会社  
設立年月日1999年7月1日  
従業員数 3,300人
- 東日本電信電話株式会社  
設立年月日1999年7月1日  
従業員数 4,900人
- 株式会社日立製作所  
設立年月日1920年2月1日  
従業員数 33,490名  
(2019年3月末日現在)

## 活用技術

- ▶ **活用技術**  
・AI、LPWA、GIS
- ① **センサーの検知結果をメール発信**  

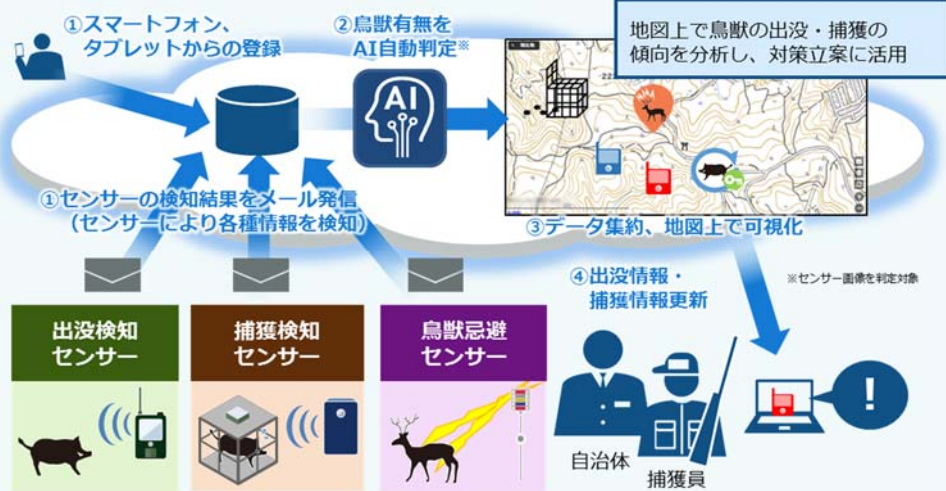
- ② **鳥獣有無をAI自動判定**  

- ③ **情報集約、GISで可視化**

## 機器情報

### 機器の概要

- ・センサーやカメラから発報される**鳥獣の出没検知情報**や地域住民からの**目撃や被害に関する情報**を、LPWAやモバイル網を活用して取り込み、**GIS(地理情報システム)上で可視化**。



### 使用目的

- ・被害情報や出没情報等の可視化、蓄積により、**地域住民への情報共有**、今後の**傾向予測**、**ノウハウ伝承**に役立てる。

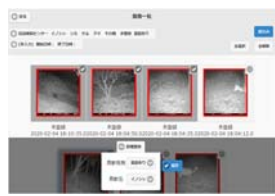
### 対象獣種

- ・イノシシ/シカ/サル/クマ、など

### システム画面



<メイン画面>



<画像登録画面>

## 導入実績

※導入実績は、各社の実績を抜粋して記載したものです

### ▶ 長崎県五島市様

- ・捕獲実績が、**2016年度は30頭**だったのに対し、**システム導入後の2017年度は163頭**（約5.4倍）

<https://www.ntt-west.co.jp/news/1804/180411a.html>

### ▶ 某自治体

- ・農水省の補助金「鳥獣被害防止総合対策交付金」を活用し、システム導入
- ・住民が罾の見回り・捕獲活動。これまで実態が分からなかった**イノシシの出没を可視化**することで**捕獲活動を効率化**

### ▶ 日立ITエコ実験村

- ・IT技術が生態系保全にどのように役立つのか、実証・検証。IoTを活用した鳥獣害対策に取り組みとして稼働中。  
<http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/geoaction100/iteco/index.html>

### ▶ 新潟県長岡市様

- ・自治体の鳥獣対策事業をサポートする株式会社ういること連携し、株式会社ういるこの診断事業データと各種センサーデータを一体管理するモデル事業を実証中。

※2019年度新規導入実績 5自治体

## イニシャルコスト、ランニングコスト

※お客様の環境や、ご要望いただく要件によって変動しますので、担当者までお問い合わせください。